

## 「かすい」って何?



昭和54年から続く豊島区独自の取組です。

PTA会長から推薦された家庭教育推進員が、学校の枠を超えて、テーマについて学びを深めます。



半年間の成果を学習発表会などで地域に発信することで、家庭や地域の教育をサポートします。



## 次期メンバーへのメッセージ

- 久しぶりの講義を受けられ、他校の保護者の方と共に学び合えたことで、視野を広げられました。
- ぜひ主体的に取り組んでみてください。いろいろな才能を持つ保護者の方と協力することで、最初に思っているよりずっと充実した時間が過ごせるはずです。

### ～募集時期～

PTA会長の推薦期限 6月末～7月中旬頃  
 ※各学校での募集時期は異なる場合があります  
 問合せ: 教育部 庶務課 庶務G TEL 03-3981-1141



豊島区公式ホームページ



## 教育長あいさつ

～豊島区教育委員会教育長 金子 智雄～

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、これまでオンラインで実施していた家庭教育推進員事業を今年度は3年ぶりに対面で実施することができました。立教大学経済学部の郭洋春教授を年間講師としてお迎えし、子供たちも学校や地域で取り組んでいる「SDGs」をテーマに学習発表会を含む全6回の活動を行いました。私も、学習発表会に足を運び、すべての班の展示やワークを体験しました。

限られた準備期間にも関わらずどの班も「身近なSDGs」というテーマに沿い工夫を凝らした内容になっており、感服いたしました。学習発表会後も、複数の学校で展示が行われたと聞き、家庭教育推進員の活動をきっかけにSDGsへの関心もより深まり、広がっていったのではないかと思います。末筆になりますが、ご指導いただいた郭教授に感謝申し上げ、挨拶といたします。



# SDGsを身近なものに

## 2022年度家庭教育推進員記録誌

編集・発行: 豊島区教育委員会事務局教育部庶務課



### 2022年度は…

3年ぶりに対面で家庭教育推進員事業を実施することができました。テーマは「SDGsを身近に感じられるものに」です。SDGsとは持続可能な開発目標です。豊島区はSDGs未来都市と自治体SDGsモデル事業にダブル選定されています。今回は、「かすい」の皆さんがSDGsを知り、身近にあるSDGsを見つけて、実践する活動をグループで企画、実施して、家庭や学校、地域に発信していきました。

### START!

第1回  
オリエンテーション  
～SDGsとは何か～

第2回  
身近なSDGsを  
探してみよう

第3回  
SDGs  
作戦会議①

### GOAL!!

第6回  
ふりかえり

第5回  
ファーマーズマーケット  
での発表(学習発表会)

第4回  
SDGs  
作戦会議②

## 年間講師から一言

～立教大学経済学部 郭洋春教授～

今回は、「誰でもできるSDGs」をテーマに、多くの人に知ってもらうことを目標に掲げました。SDGsとは何かから始まり、身の回りで実践できているSDGsへの取組を確認し、最終的にはイケサンパークで開催されているファーマーズマーケットで出展・発表することにしました。委員の皆さんは、普段忙しい中でも発表直前には月例会以外でも作業をして、発表はどれも素晴らしく、講師である私自身も勉強になる内容のものでした。当日は、1,000人を超える来場者があり、当初の目標を達成できたと思います。また、SDGs未来都市を掲げる豊島区にも貢献できたと思います。毎回の準備をしてくれた事務局の皆さん、参加された委員の皆さん、お疲れ様でした。



近い地域で6班に分け、アイスペイクをかねて班の名前を決定!(各班の紹介は4,5ページ)  
 まずは「SDGsってなに?」という基本の「キ」を郭先生からお聞きして、その後グループワーク!  
 皆さんの意見を3つにまとめました。最後に「豊島区のSDGsの取組 やっていることないこと、  
 今後やってほしいことは?」という次につなげる宿題が出されました。



「これってSDGs?」

食べ物

- 野菜の捨てる部分を食べる、使って料理する
- フェアトレード、有機栽培などに目を向ける
- 残った食材や野菜くずを肥料にする
- 頂き物を近所におすそわけ

生活

- 着られなくなった服を譲る、バザーに出品
- 防犯パトロール視点で街歩き
- お風呂に子供と一緒にいる
- 車の代わりに歩く、自転車移動にする

学校

- 制服のリサイクル
- PTA活動・学校行事への男性保護者への参加呼びかけ
- プリント配布削減

第1回感想

- これってSDGs?で書き出した内容が、環境・資源への配慮であるが、同時に家計の節約にもなり、個々でも実践できるとわかった。
- これから普段の生活の中で、子供と一緒にSDGsになるものを探してみたい。

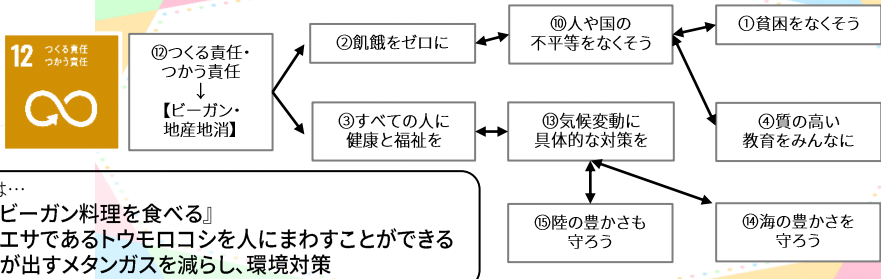
第2回



国連のすゝこく

SDGsをさらに身近に感じる3つのワークを行いました!まずは国際連合広報センターが作成しているすゝこく体験!次に前回の宿題について、皆さんそれぞれが熱心に取り組んでくださり、たくさんのSDGsの取組が見つかりました!  
 最後のワークでは、「理想的なSDGsとは、同時に多くの目標が達成できること」というアドバイスから、1つの目標からいくつの目標が達成できるか想像力を働かせてフローチャートを作成!各班工夫を凝らしたチャートができあがりました!

例 2班のチャート



具体的には…  
 『週に1度ビーガン料理を食べる』  
 →牛のエサであるトウモロコシを人にまわすことができる  
 →牛が出すメタンガスを減らし、環境対策

第2回感想

- テーマを元に、グループでフローチャートを作成したのが印象に残った。多角的に1つの方向に意見がまとまっていくことで、チームが少しずつ一体になるようで楽しかった。
- SDGsを難しく思っていたが、普段やっていることも何らかの目標になっていることが分かったので、身近なところから考えていきたい。

各班が考えたクイズです (答えは7ページ)

Q1.1本のペットボトルが自然界で分解される期間はどのくらい?

- ①20年 ②150年 ③400年

Q2.日本人1人あたりの1年間の「食品ロス」はどれくらいでしょう?

- ①約5kg ②約40kg ③約100kg

Q3.世界で子供(18歳未満)のうちに結婚する女子は年間どのくらい?

- ①1.2万人 ②120万人 ③1200万人

親子でできるSDGs



第3回

学習発表会で何をするか作戦会議



～郭教授コメント～

発表内容が班で重ならなかったのはすごい! どの班もとても興味深い内容で、当日が楽しみ。次回は実際にやってみて、さらにブラッシュアップできる機会になるとよいですね。

第3回感想

- 自分たちもそうであったように、発表の場を通して、見に来て頂いた方にもSDGsについて少しでも身近に感じてもらえるよう伝えたい。
- かねてから考えていたコンポスト(生ゴミ処理)の穴を掘り、肥料づくりを始めた。行動につながったのは「かすい」の学びのおかげです。

第4回

お互いの発表を見せあう!!



郭教授からプレゼンテーションのコツを伝授  
 プレゼンテーションで大事なものは、面白おかしく、来てよかったと思ってもらえるようにすること。恥ずかしがらず、童心に帰って一人でも多く笑かそうという気持ちで!発表する側が緊張しているとその緊張は見ている人にも伝わってしまいます。オーバーにやってみるといいですよ!リラックスして、笑顔で、見た人にキーワードを持って帰ってもらえるといいですね。

第4回感想

- リハーサルで、予想していなかった質問が出てきて、必要な準備が明確になった。
- 他の班からの違う視点で見たSDGsの発表はとても興味深かった。学んだ野菜の調理方法などを早速試していきたい。
- 先生の意見を参考にしながら、目立って楽しい展示にしたい。





第5回

# ファーマーズマーケットでの 学習発表会

3年ぶりの対面での発表会。初の試みとしての野外で、  
そしてファーマーズマーケットとのコラボでの開催！  
なんと1,000人以上の方にご来場いただき、  
「かすい」の活動をアピールすることができました。



## 4班 スマイル 朋有小・目白小・要小・長崎小 【テーマ】知っているようで知らない ペットボトルマイスターになろう！

私たちの生活でとても身近なペットボトル。  
みなさんはこのペットボトルについてどのくらいの事を  
知っていますか？クイズを行い、正解の箱に向けて  
ペットボトルをシュート！大盛り上がりでした。  
手書きの掲示は味があり、読み応えのある展示でした。



## 1班 ソメイヨシノ 仰高小・駒込小 【テーマ】食品ロス削減～私たちにできること～

食品ロスクイズにチャレンジ！回答用の札も準備され  
わくわく感もマシマシ！食品ロス削減のためにできることは、  
たくさん。実は、健康♡やお財布\$にやさしい面も☆  
豆苗の再生野菜も置いて、楽しくわかりやすい展示でした。  
レシピも注目されていました。



## 2班 地蔵+One 西巣鴨小・朝日小・池袋第一小 【テーマ】おうちで防災

防災準備はできていますか？  
おうちにあるグッズを使って、100均でも揃えられる  
オリジナル防災ポーチをご紹介。売っているの？  
とのお問い合わせも！防災用品のリストも大好評でした。  
お出かけ用のバッグに入る便利サイズで、  
ご自身や大切な人を守る一歩にも。



## 5班 ナンナン 南池袋小・高南小 【テーマ】ジェンダーを考えよう

クイズ等を通してジェンダーについて学んでみよう。  
奥にジェンダーについての書籍展示や、動画上映、ま  
た子供が遊べるおもちゃを置いて、来場者を奥まで  
誘導する工夫がありました。ふせんにジェンダーのも  
やもやを書いてもらうことで、自分の中のジェンダー  
バイアスに気づいた方もいたのでは!?



## 3班 ブドウ 巣鴨小・清和小 【テーマ】気になるイベントを探してみよう

図書館、区民ひろば、地域文化創造館で  
実施している講座を紹介します。来場者が  
どんな講座に興味があるか投票しました。  
多様な講座があることがわかりました。  
こんな講座があったらいいというご意見を  
書いてくださった方も。



## 6班 トキワ荘 椎名町小・富士見台小・せくら小 【テーマ】豊島区の身近なSDGsの取組を紹介

実は「SDGs未来都市」に選出された私たちの街。  
「住み続けられるまちづくり」をテーマに、豊島区でど  
のようなSDGsの取組があるかを緊急調査！SDGsに  
関する質問にシールで答えるアンケートを実施。  
言葉は知っていても、SDGsが2030年までに達成  
すべき目標とご存じない方が多かったのが意外でした。  
牛乳パックコマも、子供たちに大人気でした。



学習発表会をふりかえて…

よかった点

- ✓ 防災用飲料水のサンプルや風船などの配付物があったので、集客効果に好影響!
- ✓ ファーマーズマーケット開催で幅広い客層にアピールができた!
- ✓ ゲームやクイズの来場者参加型が好評

工夫が必要だった点

- ✓ 展示方法や動線の改善が必要
- ✓ 「かすい」活動の紹介が目立つところにあればよかった
- ✓ 準備期間が短かった

～郭教授コメント～

過去最大の集客数を集め、多くの人にSDGsや「かすい」の存在・活動内容を知ってもらえた。継続して多くの学校展示のオファーがあり、「かすい」のさらなる可能性を見出すことができた。また横のつながりも広げることができた。なんと**なんといっても最大の成果は、皆さんが実践することで、誰でもSDGsができることの証明になったということ**



と、皆さんの成果をたたえていただきました!

第6回感想



- SDGsは企業や団体が取り組むイメージが強くて、どこか他人事になっていたように思いますが、「かすい」での学びを通じて身近な取組もSDGsに繋がっていることを実感しました。



- 自分とは遠いところにあることだと思っていたが、日常の毎日の選択の中に、SDGsが入っていると意識が変わった。



区内小学校での展示の様子

- 「学ぶこと」と「人とつながること」がとても楽しいと再認識できた密度の濃い3か月でした。
- 6回の講習を通して得られた物は気持ちの変化です。知らない事を学べた事が楽しかったです。特に他者への関わり方が今までより変わったと感じています。

「かすい」の皆さんにお聞きしました!

SDGsでどんなことをしている?これからしてみたい?やったらおもしろいと思うことはある?

すでにやっていること



- 庭にコンポスト(肥料)の穴を作り、ゴミの削減を実施
- 防災ポーチの作成・携帯
- 衣類やタオルなどの再利用、補修など
- 再生野菜の取組
- ゴミの分別

- 他の班の提案したペットボトルリング外し
- 事前に献立を考えて、食品ロス削減
- 自分の周り(子供・保護者・地域の方)にSDGsや「かすい」を知ってもらう
- 夫のPTA会合参加への呼びかけ
- 身近なSDGsを意識する

やろうと思っていること



やったら面白いと思うこと



- ビニール傘の再利用(リメイクしてエコバッグに)をやってみたい
- 学校の一角で育てた農産物を「こども食堂」に食材として提供
- 学校制服・体操着・ランドセル・教材などのリサイクル拠点作り
- 学校調理実習で、野菜くずを利用する、おいしさの確認の試食会
- 区の紙書類を半分くらいオンライン化する

SDGsクイズ!

～答え合わせ～

Q1.1本のペットボトルが自然界で分解される期間はどのくらい? … 答え③400年  
ほとんどすべてのプラスチックは生物に分解されません。捨てずにリサイクルするようにしましょう!

Q2.日本人1人あたりの1年間の「食品ロス」はどれくらいでしょう? … 答え②約40kg  
日本の食品ロスは1年間に520万トンで(令和2年)、毎日1人おにぎり1個分を捨てている計算になります。

Q3.世界で子供(18歳未満)のうちに結婚する女子は年間どのくらい? … 答え③1200万人  
児童婚がなくなる要因は「慣習」「貧困からの脱却」「法律の不備」など。児童婚で結婚した女性は家庭内での身分が低く、配偶者やその家族から暴力を受けるケースも多い。